



令和 8(2026)年度

四日市市立笹川小学校 学校づくりビジョン

学校の教育目標(中学校区共通)

笹川に学び 笹川を愛し 笹川とともに歩む子どもの育成

めざす学校の姿



- ◇一人ひとりの「わかる」を支える学校
- ◇「違い」を力に変える、安心な学校
- ◇地域とともに、未来を創り出す学校

めざす子どもの姿



- ◇自分で考え、自分らしく学ぶ子
- ◇しなやかに立ち直り、挑戦する子
- ◇多様ななかまと、高めあう子

めざす教職員の姿

- ◇自らを高めるため学び続ける教職員
- ◇子どものよいロールモデルとなる教職員
- ◇ウェルビーイングの実現をめざす教職員

目標達成のために取り組むこと

個別最適な学びによって学力を保障し、多文化共生の精神でいじめのない安心な居場所を創り、自己肯定感とレジリエンスを育むことで、児童一人ひとりのウェルビーイングを実現する

確かな学力をつける (学びの最適化)

- 個別最適な学びの推進
 - ・理解度や日本語習熟度に応じた「複数課題(マルチタスク)」の設定。
 - ・一斉・個別・グループから「自分に合った学び方」を選択できる授業デザイン。
 - ・「わかる」「できた」体験から自己肯定感を高める。
- ICT・多文化の融合
 - ・言語の壁を超えてどの子も「学びの主役」になれる環境。
 - ・個別のルーツや文化的背景に寄り添った「オーダーメイド教材」の活用。
- グローバル・スキル
 - ・ネイティブスピーカーとの協働による、英語コミュニケーション能力の重点的強化。

こころとからだの健全な育成 (安心と回復力)

- レジリエンス教育の実装
 - ・「感情コントロール」「しなやかな思考」「他者とのつながり」を授業や行事で具体的に指導。
- 多文化共生といじめ防止
 - ・異文化理解をベースとした、違いを強みに変える仲間づくり。
 - ・特性に応じた「公正」な支援による、誰一人取り残さない居場所づくり。
- 広い視野と専門性
 - ・教科担任制及びチームによる見守りを通した、安心できる空間づくり。

学びを支え、未来を拓く (社会との共創)

- キャリア教育の深化
 - ・多文化共生の視点を持ち、社会の中で自らの価値を見出す力の育成。
 - ・保護者と目標を共有し、家庭・学校が一体となった学習意欲の向上支援。
- 地域との共創(CSの深化)
 - ・「笹川こどもみまもり隊」や「多文化共生サロン」等との連携を軸とした体験活動。
 - ・地域を「学ぶ場」とし、地域人材と共に新しい学びを創り出す。

教職員のウェルビーイングと働き方

- 研修観の転換
 - ・課題解決のために「自ら学びをデザイン」する主体的な教職員集団。
 - ・「プロジェクトチーム制(業務改善・こくさい・授業改善等)」によるボトムアップの運営。
- 働き方の構造改革
 - ・「定時退校の推進」による余白の創出。
 - ・教職員自身が自己肯定感を持ち、心身ともに健康でいることが最大の教育効果であるという共通認識。